

中学部 第2学年 成果報告書

令和3年7月2日(金) 3校時
サンホセ校 中学部2年3名
指導者 宮本 豪
アグアス校 中学部2年3名
指導者 齋藤 典子

1 教科 単元名 第4章第3節 産業の発達と幕府政治の動き

2 単元の目標 評価の観点

- ・社会の変動や欧米諸国の接近、幕府政治の改革、新しい学問、思想の動きなどを基に、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解している。(知識・技能)
- ・産業の発達と文化の担い手の変化、社会の変化を幕府の政策の変化などに着目して、事象を相互に関連づけるなどして、産業の発達と町人文化、幕府政治の展開について、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。(思考・判断・表現)
- ・産業の発達と町人文化、幕府政治の展開について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。(態度)

3 指導観

(1) 教材観

本単元は、学習指導要領歴史的分野の内容(4)を受け、ヨーロッパ人との出会い、江戸幕府の成立、産業や文化の発展、社会の変動や欧米諸国の接近などを通して、近世ではなぜ安定した社会が長く続いたのか、そしてそのような安定した社会も時代の推移の中で様々な変動があり、次第に幕府の政治が行き詰まりを見せたことを理解させることをねらいとしている。中でも本小単元においては、探究のステップを「産業や文化が発達し、都市が繁栄する中で、なぜ幕府は改革を迫られたのだろう」とし、社会の変化や飢饉の発生、外国船の出現などによって改革を余儀なくされ、年貢に重きを置く財政は悪化の一途をたどり、次第に幕藩体制を維持することが難しくなっていった過程を追究させていく。

(2) 児童・生徒の実態

本学級の生徒は、社会科学習に意欲的に取り組んでおり、真面目な学習態度である。これまでの定期テストの結果から、学習内容の定着はおおむね良好であり、定着の度合いについての個人差も狭まりつつある。しかし「知識・技能」に比べ「思考・判断・表現」の問いを苦手とする生徒が多い。また、発言は活発に行うものの、生徒同士の話し合いによる練り上げは不十分である。

そこで本時は、江戸の三大改革および田沼の政治について特徴を考察する際、4人の人物の政策や思考、社会的背景などをもとにあだ名とランキングを話し合い、サンホセ日本人学校に向けて発表する。発表の場を設けることで、聞き手を意識した話し合いが行われ、発言内容が吟味され内容の練り上げが十分に行われ、思考力・判断力・表現力の育成につながると思う。

4 指導計画(全8時間)

次	主な学習内容および学習活動	評価計画	学習形態
1	農業や諸産業の発展について、各地に特産物がみられるようになった理由を考察し、表現する。	各地に特産物がみられるようになった理由を、農業や諸産業の発展と関連付けて考察し、表現している。(思判表)	間接合同
2	都市の繁栄と交通路の整備について、交通路が整備され、三都をはじめとする都市が発展したことを理解する。	産業や交通の発達によって貨幣経済が進展し、財力をつけた町人の力が増していったことを理解している。(知技)	間接合同
3	幕府政治の安定と元禄文化について、徳川綱吉の政治の特色を理解する。	徳川綱吉の政治が、それまでの武断政治から文治政治へと転換したことを理解している。(知技)	間接合同
4	享保の改革と社会の変化について、徳川吉宗の改革の様子を理解	徳川吉宗の改革について、そのあらましを理解している。(知技)	間接合同

	し、社会の変化と百姓一揆・打ちこわしの発生件数との関係を考察し、表現する。	社会の変化と百姓一揆・打ちこわしの発生件数との関係を考察し、表現している。(思判表)	
5	田沼意次の政治と寛政の改革について、その背景を踏まえて、政治の特色を考察し、表現する。	田沼意次と松平定信の政治について、その背景を踏まえて財政政策の違いなどを考察し、表現している。(思判表)	間接合同
6	新しい学問と化政文化について、国学と蘭学の発達や化政文化の特色について、社会の動きとの関連を考察し、表現する。	化政文化が江戸の町人を中心とする文化であることを理解している。(知技) 国学と蘭学が社会に与えた影響を考察し、表現している。(思判表)	間接合同
7	外国船の出現と天保の改革について、幕府政治にどのような変化が見られたのかを考察し、表現する。	大塩平八郎が乱を起こした理由や、天保の改革の内容について、幕府政治が行き詰っていったことを考察し、表現している。(思判表)	間接合同
8 (本時)	幕府政治が改革を迫られた背景を理解し、社会の変化と関連付けて考察し、表現している。	幕府が改革を迫られた背景を、社会の変化と関連付けて考察し、表現している。(思判表)	間接合同

5 本時

(1) 目標

幕府が改革を迫られた背景を理解し、社会の変化と関連付けて考察し、表現することができる。

(2) 指導の経過

段階	時間	教師の活動（発問・指導の工夫） 生徒の反応	生徒の学習活動	資料等
導入	5	T 近世の学習ではどんなことを学びましたか。 S 江戸の三大改革と田沼の政治を学習した。 S 徳川吉宗、田沼意次、松平定信、水野忠邦のあだ名を考えて発表した。 T 学習課題を全員で読みましょう。 江戸の三大改革と田沼の政治について、社会の変化と関連付けて特徴を考え、あだ名とランキングを作り発表しよう。	1 これまでの学習内容を振り返る 2 本時の学習課題を確認する	
展開	40	T 徳川吉宗、田沼意次、松平定信、水野忠邦のあだ名と、4人のランキングを話し合い、サンホセ日本人学校のみなさんに向けて発表します。 S 吉宗は、米価の安定による財政の立て直しをした。だからあだ名は… S 田沼は、商工業重視の政治をした。だからあだ名は… S 松平は、農村を重視した改革を行った。だからあだ名は… S 水野は、享保・寛政の改革を手本にして改革を行った。だからあだ名は… S 4人の政治のうち、一番評価できるのは… T 発表用紙にはポイントのみを書き、詳細は発表原稿にまとめましょう。 S 発表用紙にはどの部分を目立つように書いたらいいかな。	3 それぞれが考えた徳川吉宗、田沼意次、松平定信、水野忠邦のあだ名を話し合い、1つにまとめる。 4 徳川吉宗、田沼意次、松平定信、水野忠邦の政治の内容を話し合い、ランキングを作る。 5 サンホセ日本人学校の生徒に向けた、発表動画を撮影する。	

まとめ	5	T 本時のまとめをノートに書きましよう。 T 板書の中から、まとめに必ず使い用語を指定し、生徒が要点を押さえたまとめを書くことができるようにする。 社会の変化に対応し、改革が何度も行われたが、幕府の政治はしだいに行き詰っていった。	6 本時の学習をまとめる。 7 次時の学習内容を確認する。	

(3) 板書計画

江戸の三大改革と田沼の政治について、社会の変化と関連付けて特徴を考え、あだ名とランキングを作り発表しよう。	②ランキング 1位 2位 3位 4位
①あだ名 吉宗 田沼 松平 水野	社会の変化に対応し、改革が何度も行われたが、幕府の政治はしだいに行き詰っていった。

(4) 生徒の様子

- それぞれが考えたあだ名の理由を話し合い、良いフレーズを選んだり、つなぎ合わせたりすることを通して、話し合いが深まっていた。
- ランキングを作る際、聞き手を納得させることを意識して根拠を話し合い意見をまとめることを通して、話し合いが深まっていた。
- 発表動画を撮る際、聞き手を意識して分かりやすく伝えようと、ポスターに書く内容を厳選したり、発表原稿を用意したりして工夫していた。

(5) 生徒の振り返り

- それぞれの政治の特徴をしっかりと話し合えた。
- 4人のあだ名を、自分たちの言葉で考えたことで、整理して覚えられた。
- ランキングをつくるのが難しかったけど、みんなで話し合っつてつくることができた。
- サンホセの発表動画もおもしろかった。直接質問してみたいと思った。

① 成果

- 遠隔合同授業で発表することを目標にしたことで、意欲が高まり、よりよい内容にしようと話し合い活動が盛り上がった。
- 聞き手を意識して、発表内容を練り上げたことで、学習内容への理解が深まった。
- サンホセ日本人学校の生徒の発表動画を視聴し、自分たちとは異なる意見に触れることができ、意見の相違点について考えることで、より学習を深めることができた。

② 課題

- 学習進度が合わず、間接合同授業の形をとった。間接合同授業にも良さはあるが、学習内容や目的に応じて直接合同授業も組めるように、年度初めの段階で年間指導計画の確認をしておく良かった。

③ 提案

- 年間指導計画や各学校の日課、通信環境等を、年度当初に確認しておくよい。
- 長期的な計画のもと、間接または直接合同授業を積み重ねていけると、生徒同士の関係が深まりより遠隔合同授業の成果が上がると思う。

(6) 教室レイアウト (ICT機器の配置)

